南国市の今・昔

十市漁業協同組合前

昭和35年ごろ

現在

高知龍馬空港

昭和39年ごろ

現在

市役所北側

昭和40年ごろ

現在

南国市の歩み　1959—2009

1993（平成5）年11月	天皇・皇后両陛下が保健福祉センターを視察
1994（平成6）年7月	「市立図書館」銀行旧店舗で再出発
11月	「健康文化都市・南国」シンボルマーク決定
1995（平成7）年12月	市長選挙で浜田純氏が当選
1997（平成9）年5月	「議会だより」第1号発行
8月	ALT（外国語指導助手）を4中学校に配置
1998（平成10）年3月	高知自動車道南国－伊野間開通
9月	98高知豪雨（被害総額46億円を超す）
12月	小学校で自校炊飯開始
1999（平成11）年6月	道の駅南国「風良里」オープン
10月	市制施行40周年記念式典
2000（平成12）年1月	人口が5万人を超える
4月	介護保険スタート
	「ごめん・なはり線」全線開通
2002（平成14）年7月	第57回国民体育大会「よさこい高知国体」夏季大会
9月	第57回国民体育大会「よさこい高知国体」秋季大会
10月	第2回全国障害者スポーツ大会「よさこいピック高知」
11月	学校給食が「完全米飯給食」
2003（平成15）年4月	新消防署庁舎落成
9月	高知空港が愛称「高知龍馬空港」として新たに出発
11月	高知龍馬空港2千500メートル滑走路供用開始
2004（平成16）年2月	後免町駅を愛称「ありがとう駅」と命名
7月	やなせたかしさん名誉市民に
8月	高知自動車道大豊－南国間の4車線化完成
2005（平成17）年4月	「食育のまちづくり条例」を制定
12月	新図書館開館
2006（平成18）年4月	「食育フェア」開催
2007（平成19）年6月	市長選挙で橋詰壽人氏が当選
11月	岡豊城跡が国史跡に指定
2008（平成20）年7月	県内初の外国人対象防災訓練
9月	地域活性化商品券「なんこく」販売
2009（平成21）年6月	道の駅南国「風良里」オープン10周年記念感謝祭
7月	市制施行50周年記念式典
10月	

市民インタビュー

私たちの思い出と未来

松村（まつむら）　朱美（あけみ）さん
58歳　白木谷

白木谷に嫁いで来て30余年。昔は大雨時に道が崩れて危険でしたが、今は広い道に整備され便利になりました。幼稚園の統合や定期バス路線の廃止は残念ですが、近年、春はタケノコ、秋は四方竹の出荷が盛んで、この時季はにぎわいます。

山本（やまもと）　将章（まさあき）さん
35歳　岡豊町中島

地域密着型スポーツ振興で活力のある南国市になることを望みます。例えば、サッカーなどで会員が運営する組織を作り、子どもから大人まで多世代を企業などが応援できる仕組み作りや、「まほろばスタジアム」の建設を夢見ます。

澤田（さわだ）　正平（まさひら）さん
61歳　稲生

50年前、私は小学６年生でした。小学校は１学年２クラスありましたので同級生も多く、よく鉄ゴマやパンで遊んでいました。田植え機も自家用車もない時代ですから、運ぶのはリヤカーを使っていました。田植えの時期はよく手伝いをしました。

溝渕（みぞぶち）　源樹（もとき）さん
80歳　里改田

一昔前の琴平神社は野尻から参道がついていて、途中には小料理屋がありました。また、門前町の馬橋地区にも参拝者用に料理屋があってにぎわっていました。ちなみに琴平神社は香川県の金刀比羅宮のお姉さんになるそうです。

西本（にしもと）　寿（とし）さん
73歳　植田

久礼田村から後免町、そして南国市となった植田でずっと生活してきました。植田は人口が増え、三世代同居も多いですが、農業の担い手が減っています。子どもから若者、高齢者まで、幸せに生活できる南国市の今後に期待しています。

末次（まつぎ）　弘和（ひろかず）さん
48歳　後免町

昔、後免町には映画館や芝居小屋もあり活気づいていました。時の流れで仕方ありませんが、胸張って言えることは、交通の要所は“ごめん”です。そして、この街を活性化していく要素は十分ここにはあり、頑張っていきたいと思います。

濱田（はまだ）　啓子（けいこ）さん
28歳　大埇乙

京都から３年前に結婚して南国市に来ました。南国市に対する夢は、今の子どもたちが自分の世界を広げられるような、いろんなものを体験・経験できるような教育が受けられるようになってもらいたいです。

島内（しまのうち）　青空（そら）さん
14歳　物部

将来、おばあちゃんみたいになりたい！好きな人と結婚して子どもを産んで50年後には、おばあちゃんになって孫たちの世話をするようになりたいです。今は中学校の先生になりたいし、デザインや漫画も大好きで希望いっぱい。

渡邊広報委員長コメント

時代と共に、新しく生まれ変わる風景や消え去る風景が、そこにあります。

一つの村、一つの町が一つの市となり市制施行50年を迎えました。

このたび、広報委員会はこの50年という節目を、市民の皆さんと共に昔を振り返り、そして、輝かしい未来への出発点として位置づけるために、特集「市制施行50周年」を企画しました。

先人のたゆまない努力と紆余曲折の中で、町が大きくなり、そして活性化され、時と共に移り変わっていく様子がうかがえます。市民の皆さんそれぞれに、心の中にはいろんな思いと、期待が込められています。後世に素晴らしい“南国市”を残していくのは、私たち一人ひとりの役割であり「一人の百歩より　百人の一歩」という言葉を心に持ち続けたいものです。